

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 保
	全体計画						経費区分		-		内線	3412
事務事業名	14891 農地整備事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	事業	970000 農地整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
耕作条件の改善を実施し、農地中間管理機構による担い手への農地集積を推進するとともに、高収益作物への転換を図る						仁礼地区で約1.4haの遊休農地を解消し、担い手へ集約し、醸造用ブドウの団地化を図る。 効果として遊休農地の解消ができ、農業の担い手の確保が期待できる。 【理事者査定】						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
仁礼地区で約1.4haの遊休農地を集積し、担い手へ集約し、ブドウ畑として整備した。	なし
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	支援制度を活用した耕作放棄地解消面積				
算式	57.5ha（現状値）+年5ha×5年【累計】				単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	62.5	67.5	72.5	77.5
	実績				82.5
指標選定の理由	農業従事者の高齢化、担い手の不足、有害鳥獣による農作物被害等による耕作放棄地の拡大を防止する。				
最終年度目標の根拠	2020年度の解消面積57.5を基準とし、2021年度以降毎年約5haの解消を目指す。				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		12,417	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	8,443	0
	地方債	0	0
	その他	40	0
一般財源		3,934	0
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.0
総額		12,417.0	0.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	5,956	
14節 工事請負費	6,281	
18節 負担金補助及び交付金	180	負担金180
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	遊休農地の解消は農業振興を図るうえで不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	遊休農地解消にあわせ、担い手への農地集積となることから有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	農地耕作条件改善事業交付金（補助率69%）を活用	

振り返り（決算年度の取組み課題）

仁礼地区で約1.4haの遊休農地を解消し担い手へ集約することで、遊休農地の解消もできた。

